

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 二地域居住のモデル構築について</p> <p>(1) モデル構築に向けて検討すべき課題を聞く。</p> <p>(2) これから新たに二地域居住をされる方と、地震により二地域居住をせざるを得ない状況にある方では、支援内容等は異なるかと考えるがどうか。</p> <p>(3) 二地域居住における住まいや移動のコストへの支援制度を早期に構築すべきではないか。</p> <p>(4) 二地域居住に関する相談窓口設置への所見を聞く。</p>	<p>知 事 企画振興部長</p>
<p>2 奥能登版デジタルライフラインの実装について</p> <p>(1) デジタルライフライン全国総合整備計画の案に奥能登版デジタルライフラインの整備が盛り込まれた経緯と、その社会的意義についての県の考えを聞く。</p> <p>(2) 住民がデジタル技術の活用を習慣化できるよう、デジタルデバイドの解決策やサポート策を含め、県と市町が共同して進めていく取組内容について西垣副知事の所見を聞く。</p> <p>(3) マイナンバーカードの読取機器は、特に被害が大きかった能登6市町はもとより、整備範囲をさらに広げるべきではないか、西垣副知事の所見を聞く。</p> <p>(4) 全国モデルを目指しているとのことだが、被災者データベースとモビリティ・ハブについては県内全域で早めに整備していくべきと考えるがどうか、西垣副知事の所見を聞く。</p>	<p>知 事 西垣副知事 総務部長</p>
<p>3 道の駅における高付加価値コンテナの活用について</p> <p>(1) 道の駅の整備主体となる市町に対し、国の支援メニューの活用も含め、県として適切な助言を行い、道の駅の防災機能の強化につなげていくべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 災害支援力と受援力の強化に向け、県が主体となり、広域に点在する高付加価値コンテナに関する連携ネットワークを構築すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 高付加価値コンテナに関する全国的な連携ネットワークの構築を被災した本県から国に強く働きかけるべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 土木部長</p>

質 疑 要 旨

馬場弘勝議員 No. 2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>4 宅内配管の修繕工事の加速化について</p> <p>(1) 6月補正予算で計上した宅内配管の修繕補助制度をどのように周知しているのか。また、現在の相談受付や補助金申請の件数は順調に推移しているのか。</p> <p>(2) 工事の進捗によっては、7月末までとしている補助対象期間の延長について柔軟に対応していくべきではないか。</p> <p>(3) 6月補正予算で計上した1億6千万円に達すると補助が終了するのではないかと危惧されるが、追加の予算措置の考えを聞く。</p> <p>(4) 工事には時間を要することから、一部の地域では、仮設の給水栓を設置するための補助制度が導入されていると聞くが、その仕組みと支援の進捗状況を聞く。</p>	<p>知 事 生活環境部長</p>
<p>5 能登半島地震のデジタルアーカイブの構築と活用について</p> <p>(1) どのような活用のされ方を想定しているのか。</p> <p>(2) 更新し続ける仕組みとし、プロセスそのものをアーカイブ化することが重要と考えるが、所見を聞く。</p>	<p>知 事 総 務 部 長</p>
<p>6 復興応援の持続化について</p> <p>(1) 今後、能登地域における旅行需要喚起策の実施にあたっては、地元の土産や能登産品を購入できる地域クーポンを導入できるような国に強く働きかけるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 応援消費の持続化に向け、今後どのようにイベントにおける情報発信等を行っていくのか。</p>	<p>知 事 総 務 部 長 文化観光スポーツ部長</p>

この質疑要旨は6月4日午後6時5分に取りまとめたものです。